

豊川ごみ減量かわら版

「細かい雑がみを資源に出したいけど入れるための紙袋が無い！」

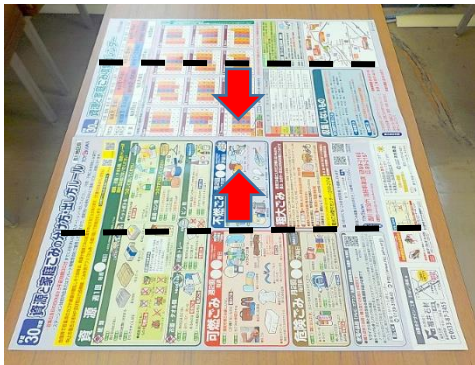
みなさん雑がみをどのように出していますか？

細かな雑がみはひもで縛りにくいので紙袋にまとめて出していただけますが、都合よく紙袋が無いという方も多いのではないのでしょうか。

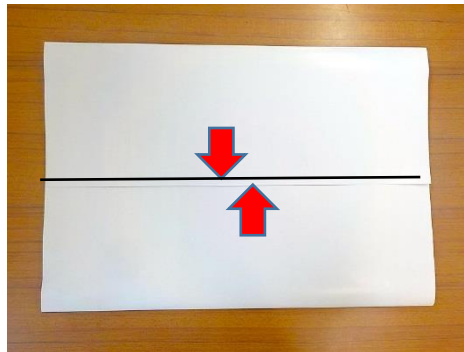
雑がみを出せなくてお悩みの方へ、紙で雑がみ回収袋を作る方法をご紹介します。

ご活用いただき、雑がみを資源に出しましょう。

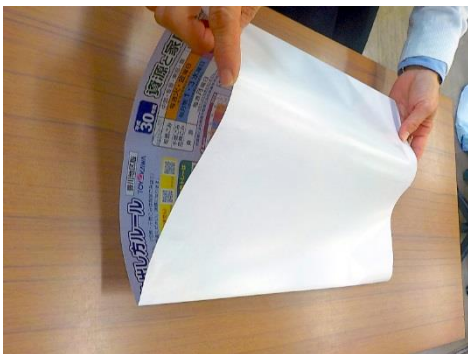
雑がみ回収袋の作り方



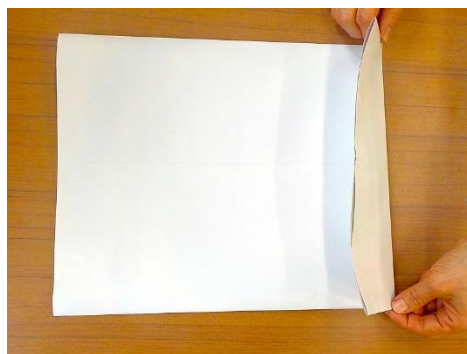
リサイクルできる紙を用意する



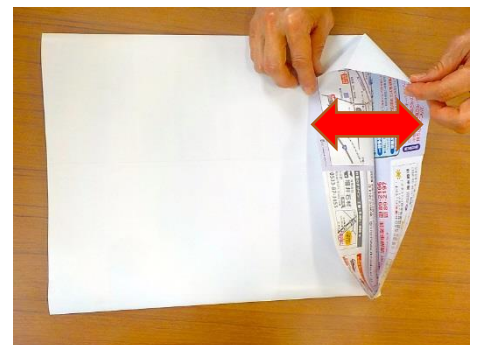
① 中央で1.5cm程度重なるように両端を折る⇒重なる部分にのり付けする



②筒状になる



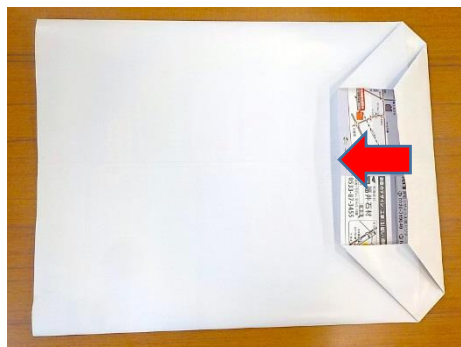
③底の部分を折る



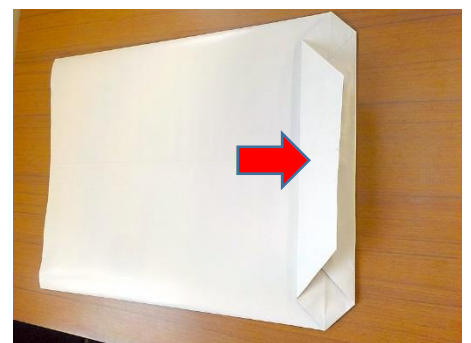
④折った部分が三角形になるように開く



⑤両サイド開きしっかり折る



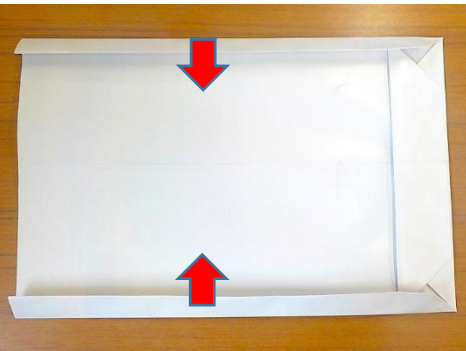
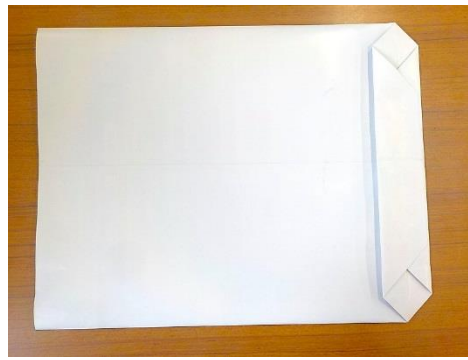
⑥上下とも1/3程度折り返す（底の部分）



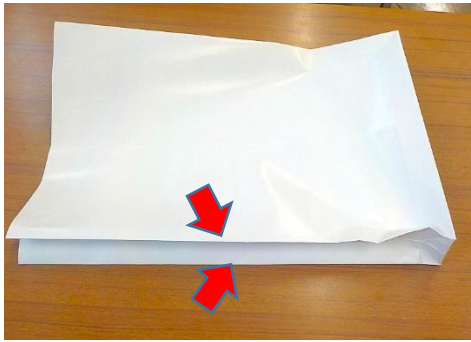
次のページへ続きます



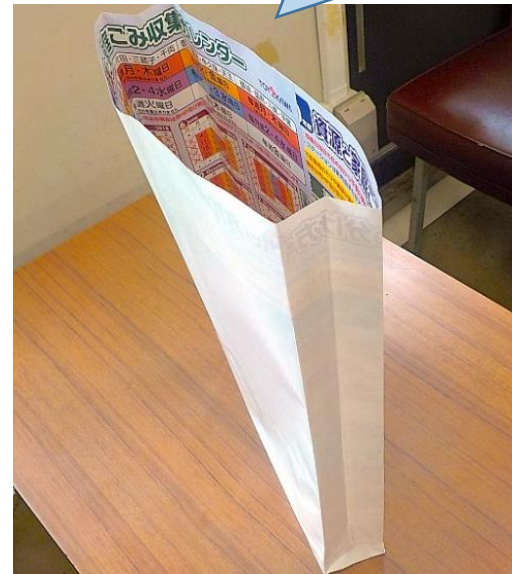
⑦重なる部分にのり付けする



⑧両側の側面を折る(マチ部分)



⑨山折り、谷折りにする(マチ部分)



袋状に広げれば完成です

雑がみで出せないもの（禁忌品）の例

・シュレッター（裁断紙）

元の材質を確認できないため、禁忌品の選別ができません。

・防水加工された紙

ロウやワックスなど製紙原料以外の不純物が混ざられています。

（例）紙コップやヨーグルトの容器など

・感圧紙、カーボン紙、ノーカーボン紙

ススや油、薬品が混ざられています。

（例）宅配便の複写伝票など

・粘着物が付いた紙

粘着物は不純物です。

（例）圧着はがきやシールなど

・感熱紙

熱で変色する物質が塗布されていて、不具合の原因になります。

（例）レシートやロールタイプのファックス用紙

・においの付いた紙

異臭の原因になります。

（例）せっけんや洗濯洗剤の箱など

・感光紙

薬品が混ざられているため耐水性があり、他の紙と混ざりません。

（例）写真、インクジェット紙など